

こっこめ通信 04 2022

「春爛漫」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

本格的な春を迎え、八丈島でも全てのものが勢いよく動き始めた感があります。天気も「春に三日の晴れ無し」の言葉通り目まぐるしく移り変わり、野外活動の際は天気予報とにらめっこしなければなりません。

今回は植物公園内のお花見ポイントと、久しぶりに開催できた行事の記録を紹介します。

春爛漫！島の桜を見に行こう！

島の桜といえば「オオシマザクラ」。ソメイヨシノほど艶やかではないけれど、島の春を彩る花の一つです。植物公園内でもたくさんのオオシマザクラが見られます。

今月は植物公園で、のんびりオオシマザクラを楽しめる私の推しポイントをご紹介します。



撮影日：すべて2022年3月24日



オオシマザクラはソメイヨシノみたいに一齐に咲き始めたりはしません。時間差で咲き始めるので、全体的に見れば長い間楽しめます。

満開のオオシマザクラを探しながら、園内を散歩するのも楽しそうですね。

あなたも、ぜひお気に入りの場所を見つけてください。（M.K.）

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科（旧ツグミ科）の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

久々の八丈学講座「春の植物観察会」

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置が解除となって初めての行事が3月26日の八丈学講座「春の植物観察会」でした。行事を再開する旨の情報が浸透しておらず、前日まで申込みがない不安な状況でしたが、当日の朝になって常連の方が申し込んでくださり、なんとか予定通り実施することができました。(T.K.)



オオシマザクラ *Cerasus speciosa*

春の植物観察会では毎回楽しみに訪れる名物のようなオオシマザクラの株です。

今年は丁度満開のタイミングで、たっぷり楽しんでもらうことができました。

参加してくれた皆さんは久しぶりの行事とあって比較的テンションが高く、草笛を作って吹いてみたり、持参の双眼鏡で遠くの山肌に咲くオオシマザクラの花を見比べてみたりと、思い思いに楽しんでくれました。

最後に立ち寄った八幡神社の境内では、島内ではこの一本だけしか知られていないムクノキの大木を見上げて、その由来を考えてみました。少々風が強く、雨も心配される天気でしたが、なんとか雨具のお世話にならず終了することができました。



アカメガシワ *Mallotus japonicus*

その名が示す通り、展開し始めた新葉は赤い星状毛に覆われて真っ赤です。



ハチジョウイタドリ *Fallopia japonica* var. *hachidyoensis*

もう少しで食べ頃を迎えそうな状態ですが、八丈島では山菜という認識はないようです。



ゼンマイ *Osmunda japonica*

八丈島ではあまり食べる習慣がありません。尤も写真は胞子葉らしいので食べない方が良いでしょう。



ハチジョウテンナンショウ *Arisaema hatizyoense*

今の所は八丈島特産です。しかしカントウマムシグサとの違いに疑問符が付く個体も見かけます。

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものを観察して季節を感じてもらう目的で「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。季節の変化を感じられる植物は全て記録し、野鳥や昆虫の様子も観察しています。今回も新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の延長に伴い行事が中止となったため、3月13日にスタッフだけで実施しました。

八丈植物公園季節調査（2022年第3回）参加者：VC 菊池，木下

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			29	ハチジョウテンナンショウ	花	シダ植物		
1	アオノクマタケラン	実と蕾	30	ハナイバナ	花	1	イシカグマ	
2	アシタバ	花	31	ハハコグサ	花	2	オオイタチシダ	
3	アツバスマシ	花	32	ハルジオン	花	3	オオタニワタリ	
4	イワニガナ	花	33	ヒナギキョウ	花	4	オニヤブソテツ	
5	ウスベニニガナ	花	34	フウトウカズラ	実	5	カニクサ	
6	ウラシマソウ	花	35	ヘビイチゴ	花	6	スギナ	ツクシ
7	オオアレチノギク	蕾				7	タチクラマゴケ	
8	オオシマカンスゲ	実	木本			8	タチシノブ	
9	オオバコ	蕾	1	アオキ	蕾	9	タマシダ	
10	オニタビラコ	花	2	アカメガシワ	新葉	10	トラノオシダ	
11	オランダミミナグサ	花	3	イタビカズラ	実	11	ナチシケシダ	
12	カタバミ	花	4	イヌビワ	実	12	ノキシノブ	
13	キュウリグサ	花	5	オオアリドオシ	実が残る	13	ハチジョウカナワラビ	
14	キランソウ	花	6	オオシマザクラ	咲き始め	14	ハチジョウシダ	
15	ケナシノジスミレ	花	7	オオバヤシャブシ	花	15	ハチジョウベニシダ	
16	コケリンドウ	花	8	オオムラサキシキブ	実が残る	16	ハマハナヤスリ	
17	コナスビ	花	9	カジイチゴ	花	17	ヒトツバ	
18	コハコベ	花	10	シマモクセイ	実	18	ヘラシダ	
19	コモチマンネングサ	紅葉	11	タイミンタチバナ	蕾	19	ホシダ	
20	シチトウスミレ	花	12	タブノキ	蕾	20	ホラシノブ	
21	スズメノカタビラ	花	13	ツルグミ	若い実	21	マツバラソ	
22	スズメノヤリ	花	14	ハチジョウキブシ	花	22	マメツタ	
23	タネツケバナ	花と実	15	ヒサカキ	花	23	ミゾシダ	
24	ツメクサ	花	16	ムベ	花	24	ヤマイタチシダ	
25	ツワブキ	実と新葉	17	モクレイシ	花	25	ワラビ	新芽
26	トキワハゼ	花	18	モチノキ	花	今回はシダ植物 25 種を含む 80 種の植物を観察しました。野鳥ではカラスバトの姿が何度も見られました。		
27	ハキダメギク	花	19	ヤブツバキ	花			
28	ハチジョウアザミ	花	20	ヤマモモ	蕾			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、「ミクラザサ」にスポットを当ててみたいと思います。



ミクラザサ *Sasa jotanii*

御蔵島と八丈島だけに自生するササの仲間で、北日本から山陰地方に分布するチシマザサ（ネマガリダケ）に良く似ています。八丈島での分布も三原山の一部に限られています。

ネマガリダケのように地際からの湾曲は僅かで、10年以降はほぼ直立します。稈の高さ5m、直径は2cmにも達します。

1997年に御蔵島で一斉開花が観察され、その後の調査から開花周期は60年と推定されています。八丈島での開花はいつになるのでしょうか？(H.T)

2022 八丈ビジターセンター 4 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		 この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります			● 1	2 ガイドウォーク
3 ガイドウォーク	4	清明 5	6	7	8 ガイドウォーク	9 ガイドウォーク
10 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	11	12	13	14	15	16 ガイドウォーク
17 ガイドウォーク	18	19	穀雨 20	21	22	23 ガイドウォーク 八丈学講座 「さえずりを聞き分けよう」
24 ガイドウォーク	25	26	27	28	29 ガイドウォーク GW特別行事 「八丈富士ハイキング」	30 ガイドウォーク

イベントプログラム

植物公園季節調査会	植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！ 4/10(日) (13:30～15:00) 中学生以上 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名
八丈学講座 「さえずりを聞き分けよう」	毎月行っている八丈学講座。今月は和泉親水公園周辺で野鳥のさえずりを聞き分ける事に挑戦します。 4/23(土) (13:30～15:00) 中学生以上 和泉親水公園駐車場 集合・解散 参加費:50円 定員:10名
GW 特別行事 「八丈富士ハイキング」	ゴールデンウィーク最初の恒例行事です。初夏の八丈富士登山を満喫しましょう。 4/29(金) (9:30～15:30) 小学生以上 (小学生は保護者同伴) 八丈富士鉢巻き道路登山口 集合・解散 参加費:50円 定員:10名
植物公園ガイドウォーク	解説員が植物公園内をご案内します。 毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。 ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名

ビデオプログラム

10:00～	八丈・海・生きものたち
11:00～	おじゃりやれ 八丈島
14:00～	おじゃりやれ 八丈島
15:00～	おじゃりやれ 八丈島
16:00～	八丈・海・生きものたち
当面の間は上記のみの上映になります	

東京都八丈ビジターセンター 2022.4.1 第251号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888
E-mail:info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

今年、八丈島では寒さ厳しい冬から一気に春がやって来た感があります。八丈島のソメイヨシノは東京より一足遅れて開き始め、満開の認定ができないくらい花がまばらなことも多いのですが、今年はどうでしょうか。(T.K.)